

事務事業名	人と環境に優しい農業推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	農業課	H29係等名	生産振興係	H28担当課等名	農業課			
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり					
	施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開					
目的	対象(誰・何を)	①農業者 ②市内果樹園		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	①減農薬・減化学肥料等の環境配慮型農法を取り組む ②安定した収量を確保できる減農薬技術を取り入れる			販売農家数(戸) 2015農林業センサス	2053		
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市が定める環境目標の達成率(水質BOD)%			市内全果樹面積(ha) 2015農林業センサス	631		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	環境保全型農業直接支払対策事業への参加農業者		5	1	2	2	
	成果指標	環境保全型農業の学習会参加農業者		50	50	60	60	
定性目標								
事業概要	環境保全に効果の高い営農活動(カバークロップ等)に取り組む農業者に対して、取組面積に応じた支援を、国と地方自治体(県・市)が行い資源環境負荷の低減を図る。また、対象となる農法や農業技術が専門的であるため、専門家による学習会で、制度の内容や農法・技術を説明する中で、より多くの農業者に関心をもってもらい、環境負荷低減を実践する農家を増やしていく。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 環境保全に資する農業生産活動の普及に関する活動 (1) 農業改良普及センターと連携した講習会の開催 (2) 農産物の販売拡大等に向けた販売業者と農業者等との意見交換会 2 環境保全型農業直接支払交付金への取組拡充 販売農家等への事業説明、交付金申請事務			1 (1) 講習会 (2) 意見交換会 2 取組農業者		1 (1) 2回 (2) 2回 2 2人		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	56	200	53	0	(県)環境保全型農業直接支払交付金(3/4)			
国庫支出金								
県支出金	42	150	40					
起債								
その他								
一般財源	14	50	13					
人件費計(千円)②	0	286	286	0				
正規職員所要時間		80	80					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	56	486	339	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	昨年度から交付金申請の要件が変更され、交付対象が農業者個人から農業者団体になった。農業者自身による効率的な団体運営が求められる一方、地域で広がりを持った取組が今後期待される。							
改革改善の考え方	①問題点	エコファーマー取得者からの申請がない。より多くの人に環境保全型農業を知ってもらい制度を活用してもらう必要がある。						
	②改革提案	下伊那農業改良普及センターと連携し、講習会等を幅広く実施する。エコファーマー取得している人等には、制度の周知活動を行う。						